写真のまち八戸

佐藤時啓－八戸マジックランタン－

2022年10月29日［土］-2023年1月9日［月・祝］　　開催告知

左｜《On the Sea #15》「Magic Lantern」シリーズより　2022 年　右｜《An Hour Exposure Fune #8》「An Hour Exposure」シリーズより　2022 年

6 年かけて八戸を撮影した佐藤時啓の新作を紹介する展覧会。

カメラオブスクラや長時間露光などの写真の原理や現象を利用して作品を制作する美術家・写真家の佐藤時啓（1957-）の個展を開催します。マジックランタン（幻燈機）をテーマに、八戸の文化と景観を融合させたシリーズなどの新作を紹介します。
八戸三社大祭や八戸えんぶり、工場や桜など、長期にわたり八戸市で制作した作品を展示。展覧会図録でもある作品写真集を、八戸にも工場を有する三菱製紙の紙などを用いて制作し、関連して八戸ブックセンターとの連携事業も行います。
展覧会に先行し、9 月にはカメラの構造を体験して楽しめるプロジェクトを実施予定、プロジェクトメンバー（アートファーマー）を募集します。

• 写真のまち八戸
八戸市美術館では、優れた写真を見て、感じて、体験できる場を設け、写真を楽しく学ぶ機会を充実させることを目的に、2013 年より、写真展や、一般や市内小中学生を対象とした公募展、写真ワークショップなどを「写真のまち八戸」事業として展開してきました。

お問い合わせ先

八戸市美術館　031-0031 青森県八戸市大字番町 10-4　TEL｜0178-45-8338（代表番号）　FAX｜0178-24-4531
E-mail｜art@city.hachinohe.aomori.jp　八戸市美術館公式 HP｜https://hachinohe-art-museum.jp
広報担当者｜大澤、山内　本展覧会担当学芸員｜齊藤、高橋

佐藤時啓－マジックランタン－　概要

2022年7月20日現在

企画名称	佐藤時啓－八戸マジックランタン－
会期	2022年10月29日（土）-2023年1月9日（月・祝）
会場	八戸市美術館（ホワイトキューブ、ブラックキューブ）
開館時間	10：00－19：00　※1月2日（月）～1月4日（水）は10:00-17:00
休館日	毎週火曜日　年末年始（2022年12月31日、2023年1月1日） ※ただし、2023年1月3日（火）は開館
観覧料	一般800円（650円）、大学生・専門学生400円（300円）、高校生以下無料 ※11月3日（木祝、文化の日）、12月24日（土）は無料
観覧料割引	・（　　）内は、20人以上の団体料金 ・八戸市内および近隣町村（三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）の65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方とその付添者1名は半額 ・近隣の有料駐車場を利用していることがわかる駐車券等の提示により、運転者1名分に団体割引を適用 ・フリーパス「かおパス」の販売があります。「佐藤時啓展」に限り、何度でもご覧になれます。一般1,200円、高校・大学生600円 ・毎日17時以降の観覧は半額
主催	八戸市美術館
協賛	株式会社ニコン
撮影協力	大平洋金属株式会社、八戸鉱山株式会社、八戸セメント株式会社
担当学芸員	齊藤未来、高橋麻衣
会場構成	佐藤慎也、日本大学理工学部佐藤慎也研究室

佐藤 時啓
SATO Tokihiro

1957 年山形県酒田市生まれ。美術家・写真家。1981 年東京藝術大学美術学部彫刻科卒業、1983 年同大学大学院美術研究科修士課程修了。1993 年メルセデスベンツ“アートスコープ”グランプリ受賞、2015 年第 65 回芸術選奨文部科学大臣賞受賞、第 31 回東川賞国内作家賞受賞。現在、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授。「第 6 回ハバナ・ビエンナーレ」（1997）「第 9 回バングラデシュビエンナーレ」（1999）ほか、多くのグループ展や国際展に参加するほか、Leslie Tonkonow Gallery（ニューヨーク、2019）、HAINES Gallery（サンフランシスコ、2010）、Piet Hein Eek（オランダ、2019）、Micheko Gallery（ミュンヘン、2021）などの画廊や、酒田市美術館（1999）、シカゴ美術館 (2005)、Frist Center for the Visual Arts（ナッシュビル、2010）、東京都写真美術館（2014）、鶴岡アートフォーラム（2015）などの美術館にて個展開催。

佐藤時啓展　企画のポイント

1. 長期にわたり八戸市で制作した作品を展示。

佐藤時啓は、写真装置の原理への興味や驚きを出発点に、ピンホールカメラやカメラオブスクラ、長時間露光などを駆使し、光・時間・空間・身体などをテーマにした独創的な写真表現に取り組んでいる美術家・写真家です。本展では、2016 年から 6 年という長い期間に八戸に滞在して制作された、祭りや漁港、名勝地などの風景を重ね合わせ、地域に潜在する歴史や文化的意識を想起させる作品群、《Magic Lantern》シリーズ、《Camera Lucida》シリーズ、《An Hour Exposure》シリーズを紹介します。

出品予定作品

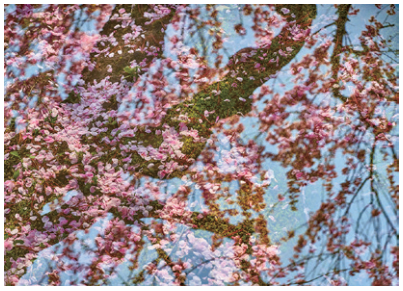
- **《Magic Lantern》シリーズ**

ろうそくやランプの光とレンズを利用して、ガラスに描かれた絵を投影する装置「マジックランタン（幻燈機）」から着想を得て、八戸三社大祭や八戸えんぶりといった八戸の代表的な祭りを、工場や港、種差海岸の岩などに投影し、新たな風景として撮影したシリーズ。闇の中に投影された光跡を見ることは、佐藤の作品を一貫する「対象物に光によって触れる」ことに繋がる。

《On the Rocks #14》「Magic Lantern」シリーズより　2022 年

- **《Camera Lucida》シリーズ**

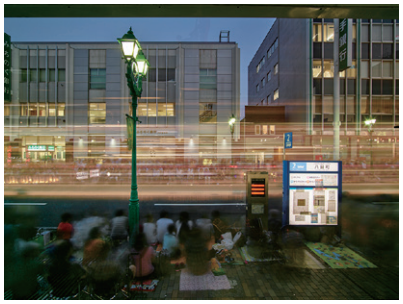
地面に散った桜の花びらの上に、頭上の桜の木が重なるように撮影されたシリーズ。19 世紀に発明された描画補助器具であるカメラルチダの構造を自作して撮影。



《Sakura on Sakura #10》「Camera Lucida」シリーズより　2022 年

- **《An Hour Exposure》シリーズ**

佐藤の代表作である「光－呼吸」シリーズから続けている長時間露光で撮影したシリーズ。60 分露光が可能な PhaseOne というデジタルバックを使用し、1 時間という時間の単位で祭りや港に停泊する漁船、種差の風景などを撮影。出来事が、一瞬の形を止めるのとは逆に、平均化されたぬめりのような風景に変容する。



《An Hour Exposure Matsuri #1》「An Hour Exposure」シリーズより　2022 年

2. 三菱製紙の紙で写真集を制作・販売。八戸ブックセンターでの関連展示も開催。

本展展示作品を収録した図録（写真集）を、八戸にも工場を有する三菱製紙の紙も使用して制作。また、この図録の制作過程を紹介する「紙から本ができるまで展」を八戸ブックセンターで、三菱製紙八戸工場と連携して開催します。

• 図録概要

展示作品を収録するほか、美術史家の伊藤俊治、写真評論家の飯沢耕太郎、小説家の平野啓一郎による論考を掲載。写真史としての位置付けやメディア論として、また文芸の領域から写真を捉え、さまざまな角度から佐藤時啓の新たな作品を評する。

• 連携企画　紙から本ができるまで／佐藤時啓－八戸マジックランタン－展覧会図録ができるまで展（仮）

佐藤時啓－八戸マジックランタン－の図録に関連した展示を行います。

日程｜2022 年 10 月 29 日（土）～ 2023 年 1 月 9 日（月・祝）

会場｜八戸ブックセンター（ギャラリー）　**主催**｜八戸ブックセンター　**協力**｜三菱製紙八戸工場

3. 展覧会に先行して、カメラオブスクラのプロジェクトを実施、プロジェクトメンバー（アートファーマー）を募集します。

カメラの原理構造であるカメラオブスクラを荷台に乗せたリヤカーに、自転車を組み合わせた移動式巨大カメラ「リヤカーメラ」の運行プロジェクトを実施します。

リヤカーメラ内の白板に、移りゆく外の景色が像を結ぶ。

• リヤカーメラプロジェクト　メンバー募集

自転車を漕いでリヤカーメラを動かしたり、お客さまを案内したり、10 月・11 月開催の本番に向けて一緒にプロジェクトを運営するメンバー（アートファーマー）を募集します。

［準備1］カメラの仕組みを学ぼう

日時｜9 月 4 日（日）　13:00 ～ 15:00　**場所**｜八戸市美術館

内容｜佐藤時啓によるカメラの仕組みや作品についてのレクチャー、リヤカーメラ体験

［準備2］リヤカーメラを運転してみよう

日時｜9 月 18 日（日）　13:00 ～ 15:00　**場所**｜八戸公園

内容｜本番に向けたリヤカーメラの運転練習、コース検討

［**本番**］**リヤカーメラを動かし、お客さまに体験してもらおう**

日時｜① 10 月 10 日（月・祝）八戸公園 ② 11 月 6 日（日）八戸市美術館、各日 10:00 ～ 16:00

内容｜プロジェクト「リヤカーメラに乗ってみよう」の運営

定員｜ 20 名程度（要事前申込）　**参加条件**｜参加無料。中学生以上。準備、本番に 1 回ずつ参加できること。**募集期間**｜ 7 月 20 日（水）～ 9 月 3 日（土）　**申込**｜メールまたは電話

4. 無料観覧日や 17 時以降の観覧に半額割引などを実施。

文化の日であり、八戸市美術館の開館1周年記念日となる 11 月 3 日（木・祝）、また、クリスマスイブの 12 月 24 日（土）は、無料で観覧できるスペシャルデーに設定します。
また、仕事終わりなどに気軽に観覧できるよう、17 時以降の観覧料を半額にします。
※割引やフリーパスは、重複しての適用はできません。

会期中プロジェクト予定

プロジェクト詳細は 8 月発行予定のチラシ、または WEB に掲載します。

1. プロジェクト「リヤカーメラに乗ってみよう」

移動式巨大カメラに乗って、景色を楽しむプログラム。（リヤカーメラプロジェクト本番）

日程・会場｜① 2022 年 10 月 10 日（月・祝）八戸公園、② 11 月 6 日（日）八戸市美術館

2. トークイベント「マジックランタンと八戸ハウス」

撮影の拠点となった「八戸ハウス」での生活を作家が振り返ります。

日程｜ 2022 年 12 月 3 日（土）

3. ワークショップ「段ボールカメラ」

小中学生を対象に、段ボール箱で不思議なカメラをつくるワークショップです。

日程｜ 2022 年 12 月 4 日（日）

4. 市民写真展「八戸フォトマッピング」

佐藤時啓展と合わせて開催する写真展。市民の視点でとらえた八戸の風景を展示します。

日程｜ 2022 年 12 月 18 日（日）～ 2023 年 1 月 9 日（月・祝）

5. 学芸員によるギャラリートーク

日程｜ 2022 年 11 月 19 日（土）、12 月 17 日（土）

広報用画像

a

b

c

d

e

f

g

h

a　《On the Sea #15》「Magic Lantern」シリーズより　2022 年
b　《An Hour Exposure Fune #8》「An Hour Exposure」シリーズより　2022 年
c　キャプション不要
d　《On the Rock #14》「Magic Lantern」シリーズより　2022 年
e　《Sakura on Sakura #10》「Camera Lucida」シリーズより　2022 年
f　《An Hour Exposure Matsuri #1》「An Hour Exposure」シリーズより　2022 年
g, h,　キャプション不要

広報用画像をご希望の方は、【1. 会社名 / 組織名、2. 媒体名・媒体の種類（雑誌、テレビ、webなど）、3. ご担当者名、4. ご連絡先、5. 掲載／放送予定日、6. 画像到着希望日、7. ご希望の写真が掲載されているプレスリリースの発行日、8. ご希望の写真記号】をメール、または FAX に明示の上、下記、お問い合わせ先までご連絡ください。

［画像の貸出条件］
• 画像は本企画・美術館の紹介の目的のみにお使いいただけます。• 画像データは第三者へ譲渡せず、使用後すみやかに消去してください。
• 画像のトリミングについては事前にご相談ください。　• 作品画像の上に図や文字を重ねることはできません。
• 画像を掲載、放送する際には、指定のクレジット表記を必ずいれてください。• 画像を掲載、放送する前に、ゲラ等掲載案をお送りください。担当者が確認します。　• 新聞紙、雑誌、書籍等の印刷物に画像を使用する際は、八戸市美術館に 1 部ご寄贈ください。

お問い合わせ先

八戸市美術館　031-0031 青森県八戸市大字番町 10-4　TEL｜0178-45-8338（代表番号）　FAX｜0178-24-4531
E-mail｜art@city.hachinohe.aomori.jp　八戸市美術館公式 HP｜https://hachinohe-art-museum.jp
担当者（広報）｜大澤、山内　本展覧会担当学芸員｜齊藤、高橋